

子ども銭湯応援事業等について

令和 8 年 8 月 1 7 日

京都市 保健福祉局 医療衛生推進室
医療衛生企画課

- 1 銭湯を取り巻く状況
- 2 子ども銭湯応援事業
- 3 京都の銭湯どうするんか会議



1 銭湯を取り巻く状況





2 子ども銭湯応援事業



子ども入浴料金無料化事業

- 多くの子どもたちや保護者の方が銭湯を訪れ、家族の絆を深めながら、京都ならではの銭湯文化に親しんでいただけるよう、京都府公衆浴場業生活衛生同業組合（以下「浴場組合」という。）、府市が連携し、子ども入浴料金無料化事業を開始。
- 実施期間：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 対象銭湯：京都府内の浴場組合加入の約80銭湯
- 補助内容：子ども（小学生以下）入浴料金無料
（通常：小学生200円、乳幼児100円）
※18歳以上の大人の同伴が必要
- 利用者の声：“銭湯の体験ができてすごくいいと思う”
“京都の銭湯文化を残すため、子どもたちが幼少期から銭湯に通うことは重要だと考えている”
“年配の方との接点を持てたおかげでコミュニケーションの場ができて子どもへの良い刺激になっている”



キャラクターコラボキャンペーン『京都で にゃんこ大銭湯』

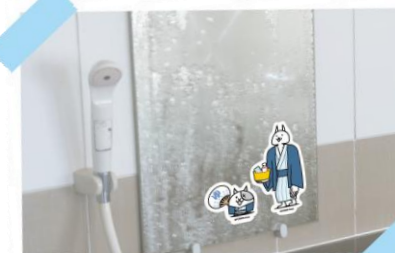
- 更なる子どもの利用促進を図るため、府市が連携し、浴場組合が実施するキャラクターキャンペーンを支援する。
人気ゲーム「にゃんこ大戦争」とのコラボ企画。
 - 実施期間：令和8年8月1日から令和9年3月31日まで
 - 対象銭湯：京都府内の浴場組合加入の約80銭湯
 - 事業内容：期間中、「にゃんこ」と浴場組合公式キャラクターの「湯鬼・湯狐」がデザインされた「垂れ幕」や浴室内の「にゃんこ」のデコシールでお出迎え。
小学生以下の子どもたちに、オリジナル桶の貸し出し
こども限定ステッカーのプレゼント。
- キャラクターを活用したキャンペーンを実施することで
銭湯が「楽しそう」な場であり、「銭湯に行ってみたい」と
思ってもらえるきっかけづくりを目指す。



©PONOS Corp.



©PONOS Corp.



©PONOS Corp.



©PONOS Corp.



6

©PONOS Corp.

体験型イベント「こども湯道教室 in 京都銭湯」

- 更なる子どもの利用促進を図るため、府市連携し、浴場組合が実施する体験型イベント「こども湯道教室」を支援する。
(一社) 湯道文化振興会と連携し、小学生以下の親子を対象とし、銭湯にて、日本の入浴文化のありがたさや、銭湯に隠された「ありがとう」と「思いやり」の心を学ぶ企画。
- 実施期間：令和8年9月26日から令和8年12月20日まで
- 対象銭湯：京都府内10銭湯（うち京都市内8銭湯）
- 事業内容：湯道クイズ、入浴マナー講座及び入浴体験等を実施予定



長門湯本温泉（山口県長門市）で実施されたこども湯道教室の様子

本物の銭湯で、銭湯の歴史、入浴文化とともに、「お風呂」があることのありがたさ、他者への思いやりの気持ちなどを学ぶ機会を提供。銭湯を身近な「学びの居場所」として育むと同時に、次世代に継承していくことを目指す。

2 子ども銭湯応援事業

こども湯道教室 in 京都銭湯（開催場所・日付・開始時刻）



もんぜんゆ
門前湯(北区)(9/26 14時)



はつねゆ
初音湯(中京区)(9/27 14時)



しののめゆ
東雲湯(左京区)(10/4 14時)



ふなとゆ
船戸湯(南区)(10/17 13時)



うめゆ
梅湯(城陽市)(10/25 14時半)



しんちゆ
新地湯(伏見区)(11/14 14時45分)



あたらしゆ
新シ湯(東山区)(11/15 14時)



こまちゆ
小町湯(下京区) (11/21 14時)



やましろおんせん
山城温泉(上京区)(12/19 14時)



ひのでゆ
日ノ出湯(舞鶴市)(12/20 15時)



3 京都の銭湯どうするんか会議



3 京都の銭湯どうするんか会議

背景・目的

(背景) 相次ぐ廃業による、地域
コミュニティや伝統文化の消失危機

(目的) 伝統ある京都の銭湯文化を
守り、次世代へ継承する

*** 社会的価値の再定義**

(健康・コミュニティ・防災)

*** 持続可能な経営基盤の構築**

(コスト課題・継承・老朽化)

運営体制・方針

* 共創型会議

* 事務局 : 京都市保健福祉局

* 主な参加者 : 京都大学 (近藤教授)、浴場組合、
(一社)湯道文化振興会、
京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)、
京都府

* 協力 : (一社)安寧社会共創イニシアチブ (AnCo)

* 運営 : ボランタリー

議論の核「5つのC」

Continue	経営の「継続」
Connect	多世代の利用に「繋ぐ」
Community	地域コミュニティのHub
Comfort	癒し・健康づくり
Cheer	応援・ファンを増やす

「銭湯の未来」をつくるアクション・サイクル

①テーマの持ち込み

自身の興味、得意分野
解決したい課題を提案

②多角的な対話

立場を超えて知恵を出し合い
「企画の種」を育てる

③企画の種を持ち帰る

会議で得たアイデアを
自身のフィールドへ持ち帰り

④個別の実践・還元

各自の活動として実践し
銭湯の持続可能性に寄与

3 京都の銭湯どうするんか会議

第1回会議の様子

■開催日時・場所

7月28日 18時30分～20時30分@^{きねや}鬼音家

■出席者等

【出席者】

西脇 隆俊氏（京都府知事）
松井 孝治氏（京都市長）
近藤 尚己氏（京都大学大学院医学研究科
社会疫学分野教授）
吉本 誠氏（浴場組合 理事長）
鈴木 信也氏（浴場組合 副理事長）
蒔田 高明氏（浴場組合 常務理事）
湊 雄祐氏（浴場組合 組合員）
木野 咲氏（(一社)湯道文化振興会）
橋本 勇人氏（SILKコーディネーター）
占部 まり氏（AnCo理事）

【ファシリテーター】

（株）よい根 代表取締役 前田 展広氏



■結果

銭湯の持つ魅力・価値や持続可能性（事業承継等）に向けた課題、行政が実施する銭湯応援施策への意見を聴取

今後、京都大学と連携し、HIA（健康影響評価）の手法を取り入れた、子ども銭湯応援事業等の効果検証を実施予定



ご清聴ありがとうございました。

本件に関する問い合わせ先：

京都市 保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課

電話 0 7 5 - 2 2 2 - 4 2 7 2